



むらかみ 市議会だより

NO.83

令和7年8月15日

短冊に願いを込めて
—金屋保育園 セタ集会—

議会の活動レポート.....	2
6月定例会	
一般質問.....	6
主な議案.....	12
議案の審議結果.....	14
この人にインタビュー.....	16



市議会だより

見る、聞く

村上市議会には現在、総務文教、市民厚生、経済建設の常任委員会のほか、目的別に特別委員会が設置され、それぞれの委員会が市政の課題や市民のニーズを踏まえ、現地視察や意見交換会などさまざまな調査・研究を行っています。

映像通報で的確な応急手当て

5/12 総務文教常任委員会

新たな119番通報システム「映像通報119」が、既に県内の約半数の消防本部で導入されており、本市でも今年2月から運用を開始していることから、市消防本部においてその仕組みや現状について調査しました。

現場の映像を共有

事故や病気等により、緊急に消防本部に通報する際に、固定電話での通報ではその状況を的確に伝えられず、対応が遅れる可能性があります。

こうした時に、通報者がスマートフォンで119番通報をすると、消防本部からSMS（※）で連絡が入り、通報者はそれをもとに現場の状況を撮影し、消防本部と映像を共有して指示を受けながら、救急車が到着するまでの間、効果的に応急手当てができます。

慌てて言葉では伝えられない状況も映像で伝えることが

でき、応急手当ての方法の指示を受けながら安心して対処できます。また、消防本部の的確な初動準備にもつながります。

実際に映像通報を体験

システムの説明を受けた後、スマートフォンを使って実際に映像通報を体験しましたが、新たにアプリを登録する必要もなく、非常に良いシステムであると実感しました。

運用開始から4月末まで41件の接続がありました。スマートフォンを使い慣れない高齢の方なども、いざという時に使えるような取り組みが必要と感じました。



スマートフォンを介し指示を受けて応急手当を体験

新たな統合保育園をイメージ

4/23 市民厚生常任委員会

旧村上総合病院跡地に整備される統合保育園について、その建設・運営にあたる「社会福祉法人わかば福祉会」とこども課から整備計画の現状を伺いました。

保育士を厚く配置

同法人が運営する「あおばこども園」を見学させていただいた後、その運営方針や現状のほか、本市に整備される統合保育園の計画について、質疑と意見交換を行いました。

同園では、基準上必要な人数の倍近い保育士を配置して保育を行っている上、離職率は約5%で人材確保がしっかりとできているということです。

法人内には本市在住の職員が多数いますが、統合保育園においては、本市の保育園に勤務する非正規職員も積極的に採用したいとのことでした。

統合保育園の整備計画

視察後に、こども課か



統合保育園と同規模の「あおばこども園」

ら統合保育園の整備計画について説明を受けました。

統合保育園は令和9年4月の開園を目指し、8年1月に工事が始まります。開園に伴う保育士の配置や、通園バスの運行については今後検討していくとのことでした。また、市として保育内容をしっかりと見ていくとの説明がありました。

そのほか、後期高齢者の人間ドック費用助成について、保健医療課から説明を受けました。国民健康保険加入者への助成額と差があることを課題と捉え、今後も注視していきます。

※SMSとは？

ショートメッセージサービスの略で、携帯電話番号を宛先にして短いメッセージを送受信するサービスのこと。

議会の活動レポート

地域を

鮭文化を後世へつなぐ

4/17 経済建設常任委員会

鮭の不漁が極めて深刻な状況となっており、三面川鮭産

漁業協同組合の第三ふ化場内に昨年オープンした増殖加工販売施設にて、閉会中所管事務調査を行いました。

村上に鮭が帰ってこない

これまで多い年で4万匹ほど捕れていた鮭が、一昨年は7千匹、昨年は5千匹ほどまで減少し、組合としても深刻な状況であるとして、その原因究明に早期に取り組む必要性を訴えていました。

また、組合だけでは原因究明に至る知識が不十分なため、専門家による研究を進めることが重要だとのことでした。

新たな観光資源に

全国的に鮭の来遊数が減少し、釣りによる有効利用調査も中止になる河川が多い中で、三面川サーモンフィッシングではリピーターが多く、村上の風景や人情、村上ならではの食など複合的に楽しめる

方が多いそうです。

一方、川や販売所には主役の鮭がわずかなため、ふ化場付近の観光客の賑わいは見られなくなっています。

持続可能な鮭のまちへ

同組合は鮭の売上をもとに運営されており、採捕数減少に加え、豪雨災害で破損したウライの設置費用が、昨年では1300万円の損失となり、将来的にも大きな不安要素となっています。

鮭の採捕数の減少は、本市の重要な観光資源にも大きな影響を与えるものであり、その対策に注視していきます。



村上の誇り「鮭」をこれからも

ハラスメント対策を研修

4/25 議会改革調査特別委員会

これまで当特別委員会では、議員の資質向上に向けて検討を重ねてきましたが、この度ハラスメント防止に関する研修会を実施しました。

議員の威圧的な言動

研修会では厚生労働省主催の「職場のハラスメント対策シンポジウム」での成蹊大学法学部の原昌登教授による基調講演の動画を視聴し、その後議員全員で意見交換を行いました。

議員同士のハラスメントのほか、特に市職員に対する接し方については、ハラスメントを受けた側がどう受け止め、どのような悪影響があったのか経緯を整理する必要があるとありますが、優位な立場にある議員から職員への威圧的な言動や態度は、ハラスメントにあたる可能性が高いと感じられます。

対応策の明確化が必要

議会も企業などと同様に、ハラスメントの事実

が発生した際には、アンケート調査などの必要性についての意見も出されましたが、全国のハラスメント防止条例も参考に、当市議会の政治倫理条例の改正なども含め、対応のルールを明確にする必要もあると感じられました。

ハラスメントを議員個人の問題と捉えず、議会としても正しく対策を講じる必要があります。各議員の意見を集約し、当特別委員会では引き続き、ハラスメントのない環境づくりへ、調査研究を進めていきます。



「しない・させない・受けない」ために

朝日温海道路の進捗を確認

7/2 高速交通等対策特別委員会

日沿道朝日温海道路（総延長40・8km）の工事現場を視察し、進捗状況および地質対策の現況を確認しました。

大川橋梁（堀ノ内地区）

現在、橋台と2基の橋脚が構築済み、今年度より大川内側の追加2基の橋脚に着手するため、上流側には仮設工事用橋梁が設置されています。

11号トンネル（中浜地区）

総延長2・2kmのうち、山形県側588mの掘削が完了。新潟県側の掘削区間は泥岩などの軟弱地盤が多く、地山安定を確保するため、事前に地盤改良をした上で掘削し、アーチ型H鋼の設置後、コンクリート吹付、さらに6m鋼管ボルトによる補強工法を適用するなど難工事となっているため日進量は1m（概ね月30m）となっています。また、事務所にてトンネル内外の安全監視体制を構築するとともに、交差する林道利用のため

にセンサー設置等の安全対策も講じられています。

2号トンネル（大須戸地区）

総延長2・58kmのうち、新潟県側1036mの掘削が済んでいます。11号トンネル同様、軟弱地盤等により、日進量は3mに留まっています。

朝日温海道路の全線開通には依然として時間を要しますが、早期完成を目指し、引き続き委員会活動を推進します。



鋼管ボルト数が難工事の証（11号トンネル）

応急手当で命を助ける

6/24 応急手当講習会を開催

村上市議会では、平成27年に市議会災害対策支援本部設置要綱を制定し、災害が発生した時には議員自らが安全を確保しながら、迅速かつ適切な災害対応を図って、各地域での活動に協力するとしています。これにより、定期的に応急手当講習会を実施しています。

しかし、コロナ禍の影響や、改選により応急手当講習を受けていない議員が多くなったことから、消防本部の職員を講師に再び講習会を開催しました。

講習会前半では、突然のけがや病気により心臓が止まったときに、救急車到着までの間に心臓マッサージや、AEDを使い電気ショックを与える心肺蘇生法について学びました。初めて心臓マッサージを体験した議員は、圧迫の適切な深さや速度を掴むのに苦労していました。また、赤ちゃ

実際に「映像通報119」を使用しながらの訓練



んや小さい子どもに心臓マッサージをする際には、体格に応じて片手や指2本程度で行うなど、留意すべき点についても指導がありました。

講習会後半には、本市消防本部で2月から運用開始した「映像通報119」について、実際に議員個人のスマートフォンを使いながら説明を受けました。

あらためて救命処置の重要性や、応急手当での必要性について認識を深めました。

米坂線の復旧へ中央要望も

米坂線整備促進期成同盟会総会に三田議長出席

米坂線整備促進期成同盟会は、JR米坂線の近代化と輸送力増強のため整備促進並びに利用拡大を目的として、沿線自治体の県・市町村・議会・関係諸団体・鉄道事業者で構成されており、村上市議会議長も理事として名を連ねています。

7月1日に関川村で本年度総会が開催され、令和7年度事業計画の審議の際、三田議長から「米坂線の復旧に向け、沿線各地の団体それぞれが活動するより、全体が一つとなって大きな活動をするのが強い影響力につながるのではないか。また地方鉄道存続のため、財政基盤の弱い地方自治体に負担を求める現行の法制度の見直しを含め、政府・国会議員への中央要望も検討していただきたい」旨の発言があり、今後検討することとなりました。

6月定例会

一般質問は、市の行政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提案を行い、市民の声を市政に届けるものです。6月定例会では、12人の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、掲載された原稿は質問者が作成しています。

一般質問

市政のことが聞きたい

1 高志会 魚野ルミ

1. 交流の館「八幡」の今後と移住・定住に向けた地域交流機能の維持について
2. 婚活支援事業の推進と定住促進への活用について

8 高志会 鈴木一之

1. 地域みらい留学について
2. こどもを取り巻く生活環境について
3. いじめ対策、不登校に対する支援について

2 新緑会 菅井晋一

1. JR米坂線の早期復旧について
2. 基金の運用について

9 新緑会 富樫光七

1. 有機農業の取組について
2. 有害鳥獣の解体施設の設置について
3. 田んぼの貸借に関する農地中間管理機構制度について
4. 村上総合病院の分娩の取扱休止について

3 野村美佐子

1. 生理の貧困対策について
2. エアコン設置補助制度について
3. みどりの里の玩具歴史館の玩具の取扱いについて

10 令和新風会 高田 晃

1. スポーツ文化の振興施策について

4 鷺ヶ巣会 河村幸雄

1. 消防力・防災力の維持について
2. 修学旅行について
3. ユネスコ登録を見据えた取組について

11 新緑会 姫路 敏

1. ごみ処理手数料における徴収方法の変更について
2. 定額減税補足給付金給付事業等や生活応援給付金事業について
3. 公営住宅の維持管理について

5 令和新風会 佐藤憲昭

1. 行財政運営について
2. 地域公共交通施策の推進について
3. 行政組織におけるハラスメント対策について

12 新緑会 上村正朗

1. 有害鳥獣被害防止対策の充実について
2. 山北地区の活性化について
3. 文化行政の推進について

6 至誠クラブ 富樫雅男

1. ケアマネジャーの拡充について
2. 子宮頸がんワクチン接種の普及について

7 鷺ヶ巣会 山田 勉

1. 米坂線早期復旧について
2. 坂町駅の利便性向上について
3. 子育て支援と岩船米のPRについて



移住・定住への取り組みを



魚野ルミ

問 交流の館「八幡」の役割と現在の利用状況は。

答 交流や教育が本来の目的で、地域住民の交流促進や教育活動拠点など多様な用途で利用いただいていたが、現在は工事関係者の宿泊や帰省時の利用などが多くなってきた。

問 今後も交流機能は必要と考えるか。

答 交流機会を創出する施策としてハード、ソフトは重要である。

問 地域の声の反映と、今後の機能継承は。

答 宿泊、日帰り入浴、体験交流の場等の機能をどうやって発出していくのか、既に代替機能があるのか、関係団体の声を聞きながら検討していく。

問 本年度、ハートマッチ

にいがたの会員登録料補助が開始されたが、移住・定住促進へつながる婚活支援事業の推進は重要である。事業の実施状況と、今後更なる地域連携や先進事例の導入などにより強化していく予定はあるか。

答 平成26年度から5年間で、36の婚活イベントにより115組のカップルが誕生したが、その後成婚、移住・定住に繋がったかは把握できていない。結婚新生活支援補助金の利用は年々増加しており、地域の世話焼き人事業のほか、国や県とも連携し、各種制度を利用しながら結婚を契機とした移住・定住促進を包括的にサポートしていく。



交流の館「八幡」・イカの塩辛づくり

JR米坂線の早期復旧を



早期復旧を待つJR米坂線の起点「坂町駅」

整備促進期成同盟会を中心とした沿線自治体と、早期復旧に向けた取り組みを進める。

問 8月31日に関川村で開催される「第2回米坂線復活絆まつり」について、昨年は同じ8月31日にJR小国駅前広場で盛大に開催され、1500人あまりの来場者があった。今年は関川村が会場で、あと2か月しかないが、県をも巻き込んで米坂線早期復旧に向けた機運を盛り上げるため、村上市からも絶大なご支援・協力を求めたい。

答 市長として昨年の「絆まつり」に出席し、大勢の皆さんからの思いが伝わった。新潟、山形両県知事からも力強いコメントを頂いたと承知している。今年も市として実行委員会に関わりを持っており、しっかりと取り組みを進める。



菅井晋一

生理の貧困対策は



問 経済的な理由で生理用品が十分に購入できないという「生理の貧困」が社会問題になったが、その後の市の対策は。

答 令和3年7月に相談窓口を設置し、生理用品配布を行ったが利用は1件であったことから、フードバンクや市内NPO団体に生理用品を提供させていただいている。学校では保健室に生理用品を常備し、もういに来るときに相談ができるようにしている。

問 生理は個人で対処すべきもの、女性だけが負担すべきものではなく、基礎的な保健サービスとして対処す



誰でも安心して使え、相談できる仕組みを



野村美佐子

べき内容と言えるのでは。特に学校は子どもたちが勉学に集中できるようにし、子どもたちの心身の健康を守るのが求められる。トイレに生理用品を常備し、安心して学べる環境を整える必要があるのでは。

答 もっともな考えだと思つので市内の小中学校の保健室の先生と相談して進めたい。公共のトイレに生理用品を置くことは、すぐに取り組めるのではないかと考える。

問 高齢者や障がい者などの外出が難しい世帯のエアコン設置補助制度を故障した場合にも適用できないか。
答 故障したエアコンについては、機種等の要件があるが、「村上市未来に向けた住まいづくり推進事業補助金」の利用も検討していただきたい。

消防力・防災力の維持へ



問 消防団員の確保、団員の負担軽減に関する取り組みは。

答 令和5年度に各方面隊の組織体制の見直しを行い、部の守備範囲の再編成を行ったところである。さらに広報指導や災害対応を担う機能別団員制度を新たに設け、有事の際の即応性と消防力を確保するとともに団員の活動をサポートするため、消防団協力事業所制度や消防団員サポート制度、団員報酬の支給方法を見直すなど団員の処遇改善に努めてきたところである。引き続き、団員が誇りを持つて活動できるよう、消防団を取り巻く環境の整備に取り組んでいく。

問 「映像通報119」導入後の状況と今後の取り組みは。



河村幸雄



郷土愛に燃える消防団員の活動拠点

答 7年2月6日から「映像通報119」の運用を開始し、運用開始以降5月末時点で51件の通報があり、うち33件が映像接続されている。心肺停止事案など複数の重症事案において実際に活用されており、消防本部の指令員が映像をもとに通報者に対して、心臓マッサージの方法やAEDの使用について直接指導を行うなど確実に人命救助につながっていると考えているところである。

今後は本システムのPRを進めて、通報される方が安心して映像提供に応じられるよう、講習会やイベントなどの機会を通じて利用方法を周知していきたい。

地域に優しい公共交通を



佐藤 憲昭

問 本市の地域公共交通も市民にとって利用しやすく改善されてきているが、利用料金を乗車距離制から定額制にできないか。

答 公共交通事業者のご協力により、昨年10月からエリアによる料金体制に変わり好評をいただいている。今後も市民の足として、ご指摘も踏まえて国や関係者と協議を進めていく。

問 山北地域で運行している「自家用有償旅客運送事業」（通称…ボラタク）は、運転ボランティアの献身的な努力により利用者也増加している。地域の足として、他地域への拡充や財政支援を考えるべきでは。

答 利用者の増加に伴い、それを支える応援者も増えていると聞いている。実態



地域の温かい足として期待が膨らむボランティアタクシー

を把握して対応する。
問 今年度の予算規模は過去最大で投資的経費が増え、市内の経済活動効果に期待するものであるが、本市で暮らし続けたいと思えるためには、子育て・福祉・介護・医療・教育等市民生活の基本的な行政サービスの向上が大切である。財政健全化集中取組において捻出した財源を投入する考えは。

答 投資事業を大きくすることによって本市のGDPを上げることが重要な視点と考える。市民を誰一人取り残さず、一人ひとりに優しい行政サービスを行っていくために、有利な財源を確保しながら、質の高い行政運営に取り組んでいく。

不足するケアマネへの対応



高齢者の拠りどころ 特別養護老人ホーム「たかつぼ」

問 高齢化が進む中、介護サービスを支援するケアマネジャーの役割は重要性を増しているが、成り手不足の要因をどのように考え、対策を講じているか。

答 4月1日現在、施設入居の方を支援する施設ケアマネジャーが49人、在宅の方を支援する居宅ケアマネジャーは減少傾向で54人である。成り手不足の要因は資格取得が難しく、責任が重い事と考える。特に居宅ケアマネジャーは多くの利用者を担当し、事務処理など業務内容が多い実態がある。人材確保に向けて、介護人材確保推進事業給付金や介護職

に興味を持つ高校生を対象に見学ツアーを開催している。さらに働きやすい環境整備を目的として定期的にケアマネジャー連絡会や研修会を行い、情報共有、スキルアップの場を設けるなどの取り組みを行っている。

今後は処遇改善が必要と考えており、村上市のように広範囲で条件的に不利な地域に配慮した介護報酬の算定を国に要望している。

問 子宮頸がんワクチンの接種率が令和5年度は15%と低い状況である。中学1年生から高校1年生は国費での接種対象だが、接種の通知は中学1年生時点となっている。他市では高校1年生に毎年通知する事で接種率が大幅に増加している例もあり検討いただきたい。

答 接種年齢は15〜16歳の方が多い事もあり、検討していきたい。



富樫 雅男

米坂線復旧の取り組みは



問 米坂線の早期復旧に向けた村上市の取り組みは。

答 本市は、沿線自治体で構成させる米坂線整備促進期成同盟会に加盟しており、新潟、山形両県ともしっかりと連携を図りながら、JR東日本や国に対して要望活動を行っている。今後も緊密に連携しながら、米坂線の日も早い復旧に向けて粘り強く取り組んでいく。

問 米坂線の線路の維持管理に関するJRへの要請は。

答 特に線路敷地内に雑草が繁茂し長期間放置されることで周辺農地に種が飛散したり、害虫が発生するなどの悪影響があるため、これまでもJR東日本新潟支社に対して、適切な維持管理を要請している。今後も適切な維持管理を求めていく。



山田 勉

問 坂町駅の利便性向上のためにエレベーターを設置できないか。

答 これまでもJR東日本に対してエレベーター等の設置による段差解消などのバリアフリー化に向けた要望を行っているが、早期の実現は難しい状況である。しかし、坂町駅は重要な公共交通の拠点施設であることから引き続き要望していく。

問 子育て世帯に岩船米を配布することでPRにもなるのでは。

答 物価高騰の中にあつて、食育等の観点からも岩船米の配布は子育て支援策の一つとして考えるが、今年度末までは保育園等での副食費の無償化や3歳以上の園児に対して、本年11月から主食の無償提供を行い、保護者の負担軽減を行っていく。

地域みらい留学に期待



鈴木一之

問 地域みらい留学は、県外から高校生を受け入れ、将来的な関係人口の創出を目指す事業で、交流・定住促進事業の一環であり、本市の魅力在全国へPR、発信する意義ある事業である。そこで本市の魅力をどのように捉えているか。

答 美しく豊かな自然と伝統文化にあふれ、人々が情に厚く、温かみのある街と捉えており、その魅力が伝わるよう地域みらい留学公式ウェブサイトに掲載し、県外生徒の募集を開始している。また、随時オンラインにて留学希望者に説明会を実施するほか、本年6月下旬と8月下旬に開催される「地域みらい留学高校進学フェス」に参加する予定としており、本市の魅力を



地域みらい留学の受け入れ校となる村上高校

問 PRしていきたい。どのような考えでPR募集するのか。

答 この度、村上高校と連携し8年度に県外から2人の新1年生を受け入れるよう準備を進めている。村上高校は地域みらい留学の対象となっている全国の高校の中では進学実績が高く、比較的生徒数も多いため部活動の選択肢も広がり、文武両道を目指すことができる環境である点と、本市の魅力ある環境の中で、地域住民のぬくもりに触れてもらい、地元の生徒と切磋琢磨しながらお互いを高めあうことができる点をPRし、地域全体で今後の地域を支える人材育成につなげていきたい。

有機農業の取り組み状況は



富樫光七

問 私たちの体は、食べたものでできている。農業は村上市の基幹産業であり、農作物の付加価値を高め、農家所得の向上や地域経済の活性化を促すべきである。令和4年度から国が押し進めるオーガニックビレッジ宣言に向けた、その後の進捗状況は。

答 オーガニックビレッジに取り組むためには、有機農業実施計画の策定が必須であり、策定に向けた協議および計画に基づく産地づくりに必要な取組等について、8年度の国の補助事業を活用し実施する。

問 有害鳥獣の解体施設の設置は。

答 現在、朝日地域関口地区にサル大型おり、神林地域河内地区にイノシシ大型



サル大型おり、約半年で32頭の捕獲実績あり

囲いなを設置して効果を検証している。今後、各地域で一括捕獲設備の設置が進んだ場合、捕獲後の解体処理施設が必要なため、設置場所等について、関係機関と検討していきたい。

問 村上総合病院の分娩の取扱休止後の市の対応は。

答 その不安感を少しでも解消するため、全ての妊産婦に対して、健診に係る交通費および分娩前の宿泊費の支援に加え、妊婦情報事前登録制度を設け、妊婦情報を消防本部と共有し、緊急時の体制を整えている。また、村上総合病院に対し、妊婦の負担軽減のため、妊娠30週頃までは健診に対応するように要望している。

スポーツ文化の振興施策は



大会目指し練習に励む選手たち

ブヘアアンケート調査を行った中で会員数の減少や高齢化、交通手段の支援や組織体制など、さまざまな意見が寄せられたが、その中で全国大会に出場する際の「激励金(個人5千円、団体2万〜3万円)」の増額に対する意見が多くあった。県内20市の状況を調査したが、そのほとんどが村上市より多く、個人で1万円、団体は5万円〜10万円、さらにブロック大会出場でも補助する市がある。この制度ができて15年以上が経過しており、ガソリン代なども上がっているので激励金の増額はできないか。

答 担当課でも県内30市町村の状況を調べたが、その多くは個人で1万円のところが多く、それ以上の市町村もある。個人5千円というのは平成22年から変わっていない。物価高騰もあるので、現状に見合った金額が可能かどうか検討する。



高田 晃

問 中学校部活動の地域展開(移行)については、順調に進んでいるようだが、「令和7年度中体連の特例競技細則」には、地域クラブ指導者の資格要件がある。指導者は中央競技団体の資格がなければ大会の引率やベンチ入りができないため、多くの時間と費用をかけて資格を取得している状況だが、支援策はないか。

答 今のところ、資格取得に対しての支援は新潟県のメニューにないが、そういった課題があるのであれば今後県とも協議していきたい。

問 今回、市のスポーツ協会やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラ

シール方式の効果は



問 ごみ処理手数料の徴収方法を、ごみ袋方式から、シール方式に切り替えることを前提に、実証実験を行う予定であるが、効果はあるのか。

答 指定ごみ袋製作費用が、5年度で2千215万円を要しており、これを指定シールに替えた場合は、製作費用が200万円程度に抑えられ、約2千万円を毎年削減できる。また指定ごみ袋製作に係る二酸化炭素排出量も削減できる。

問 ごみ袋は中国で製造しているの
で、国内での二酸化炭素削減にはな
らない。そもそもごみ袋を活用して
の運用は黒字で、5年度では約
3千万円の収益があり、ごみ回収運



ごみ袋からシールに替えて大丈夫なのか？



姫路 敏

搬経費約3億円に充当されている。
これをシール方式にすることで、今
以上の効果が期待できるのか疑問で
ある。シール1枚をいくつで販売し
ようとしているのか。

答 現段階ではシール1枚の値段は
算出していない。ごみ袋製作経費の
削減などを踏まえて、全体の中で値
段を算出していく予定である。

問 それでは後先が逆ではないか。
シールを1枚いくつで販売し、どれ
くらいの収益が出るのかを見積もり、
その結果ごみ回収運搬の経費が大き
く削減される。だからシール方式に
変えるという説明が先にあり、その
上で実証実験を行うのであれば理解
ができると思うが。

答 さまざまな考え方はあるが、ま
ずはシール方式での実証実験を行っ
ていきたいと考えている。

山北地域の活性化を



問 山北地域の活性化に向
けた将来構想づくりが必要
では。

答 山北地域は市の総合計
画において北部拠点として
位置づけられており、地域資源
を最大限に活用した持続可
能な地域づくりが必要であ
る。市全体の将来構想を描
き、その実現に向けた具体
的な施策に取り組むことが
地域の活性化につながるも
のと考えている。

問 交流の館「八幡」の廃
止を決める前に地区の将来
構想や代替施設建設の可能
性について検討すべきでは。

答 交流の館「八幡」は施
設の老朽化や維持管理コス
トの増加、利用者数の減少
などの状況を総合的に判断
して廃止の方針を決定した。
当該施設が有していた機能



上村 正朗



交流の拠点「交流の館「八幡」

については、民間宿泊施設や既存公
共施設の活用により、多様なニーズ
に応える施設への転換も視野に検討
していく。

問 本市の文化財の保存や活用に市
民の力を生かすべきでは。

答 文化財の保存に関する課題の解
決、地域活性化に向けた文化財の積
極的な活用方法の検討など、市民と
一体となった推進体制の構築に努め
たい。

問 岩船中学校の校舎を文化財の保
存や活用の拠点とすべきでは。

答 資料を適切に保管、活用できる
拠点施設として、岩船中学校の他、
廃校となった学校の利活用を含め、
拠点となる施設の整備について、さ
まざまな視点で検討していく。

旧村上総合病院跡地を取得

取得金額 2億6,000万円

議第64号 財産の取得について

- 問** 駅周辺まちづくり事業で整備される複合交流施設の完成時期は。
- 答** 先に公表しているとおり、12年度の供用開始との目標で事業を進めている。
- 問** 工事開始までの間、市に寄付された旧ジャスコ跡地を駅前商店街等への来訪者向けに開放できないか。
- 答** 近隣に民営の駐車場もあり、駅前商店街や区長等とも相談していきたい。

6月定例会

令和7年村上市議会6月定例会は、6月10日から27日までの18日間の会期で開かれました。

この定例会には、市長から条例改正や補正予算など議案33件、議会側提案の請願や議員発議など8件が提出されました。

令和7年度 一般会計補正予算

村上祭 瀬波祭 岩船祭をバックアップ

無形民俗文化財調査経費 227万円

- 問** 村上祭、瀬波祭、岩船祭の際の交通警備委託料と仮設トイレ借上料について、補助金等ではなく市が直接業者に払う方法にした理由は。
- 答** 補助金や負担金、直接支払いについて議論したが、村上祭のユネスコ文化遺産認定が待たれる中、市としても村上祭をはじめ3つの祭を全面的にバックアップする必要があると判断し、市の直接支払いとすることにした。

3歳児以上の園児に米飯給食を実施

保育園運営経費 2,105万円

- 問** 保育園での3歳児以上の主食提供が実施されるが、園によって米飯の提供方法が異なるのか。
- 答** 村上地区の第一、第二、山居町、瀬波の4園については、調理室が狭く自園での炊飯が難しいため外部委託で米飯を提供し、この4園以外の保育園では、ガスや電気など必要に応じて改修工事を行い自園で炊飯して提供する。

瀬波船だまりをしゅんせつ

三面川河口漁業施設経費 1億6,700万円

- 問** 瀬波船だまりのヘドロしゅんせつ工事の工事期間及び事業費は。
- 答** 工事期間は5年で、総事業費は約9億円を見込んでいる。
- 問** 定期的にしゅんせつを行う考えは。
- 答** 5年くらいを目途に、堆積状況を確認しながら適切な時期に実施する形で進めたい。

議案審議結果

◎＝全会一致で可決、同意、承認、採択

議案番号	議 案 名	結果
請願 第3号	瀬波船だまりヘドロ浚渫工事早期実施の請願	◎
請願 第4号	JR米坂線早期復旧のための請願	◎
請願 第5号	河内集落と同じ条件で合併処理浄化槽の運営をお願いする請願	◎
請願 第6号	「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革・義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める」に係る意見書の採択を求める請願書	◎
議員発議 第4号	「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革・義務教育費国庫負担制度2分の1復元」に係る意見書の提出について	◎
議員発議 第5号	地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について	◎
議員発議 第6号	鮭増殖事業に対して支援を求める意見書の提出について	◎
議第47号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（吉村和昭氏：再任）	◎
議第48号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（川村三千男氏：新任）	◎
議第49号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（八藤後瑞枝氏：新任）	◎
議第50号	専決処分の承認を求めることについて（村上市税条例の一部を改正する条例制定について）	◎
議第51号	専決処分の承認を求めることについて（村上市入湯税条例の一部を改正する条例制定について）	◎
議第52号	専決処分の承認を求めることについて（村上市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について）	◎
議第53号	村上市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎

議案番号	議 案 名	結果
議第54号	村上市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第55号	村上市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第56号	財産の取得について（消防用小型動力ポンプ）	◎
議第57号	財産の取得について（村上市立小中学校学習用端末）	◎
議第58号	村上市国民健康保険税条例及び村上市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第59号	村上市ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第60号	村上市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第61号	財産の取得について（11t級除雪ローダ）	◎
議第62号	財産の取得について（8t級除雪ドーザ）	◎
議第63号	財産の取得について（8t級除雪ローダ）	◎
議第64号	財産の取得について（村上総合病院跡地）	◎
議第65号	令和7年度村上市一般会計補正予算（第2号）	◎
議第66号	令和7年度村上市上水道事業会計補正予算（第1号）	◎
議第67号	令和7年度村上市下水道事業会計補正予算（第1号）	◎
議第68号	令和7年度村上市一般会計補正予算（第3号）	◎

人事案件

人権擁護委員の推薦に同意しました

（任期：令和7年10月1日～10年9月30日）



よしむらかずあき
吉村和昭氏
（朝日地区・再任）



かわむら み ち お
川村三千男氏
（荒川地区・新任）



やとう ご みず え
八藤後瑞枝氏
（神林地区・新任）

人権擁護委員は、人権擁護委員法の規定により、市長の推薦、市議会の同意を経て法務大臣から委嘱されており、法務局と連携して主に次の活動を行っています。

- ・人権相談を受け、問題解決の手助けをします。
- ・人権侵害による被害者を救済します。
- ・地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行います。

請願の審議結果

請願は本会議で採決が行われ、過半数の賛成により採択されます。

件名	紹介議員	付託委員会	審議結果
瀬波船だまりヘドロ浚渫工事早期実施の請願	上村正朗	経済建設 常任委員会	採択
J R 米坂線早期復旧のための請願	川村敏晴	総務文教 常任委員会	採択
河内集落と同じ条件で合併処理浄化槽の運営をお願いする請願	菅井晋一	経済建設 常任委員会	採択
「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革・義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める」に係る意見書の採択を求める請願書	川村敏晴	総務文教 常任委員会	採択

陳情の審査結果

陳情は所管常任委員会の協議会で審査され、常任委員全員の下承で、願意了承となります。

件名	所管委員会	審査結果
鮭増殖事業に対して支援を求める陳情	経済建設常任委員会	願意了承
地方財政の充実・強化に関する意見書の提出を求める陳情	総務文教常任委員会	願意了承

意見書

- ◎ 「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革・義務教育費国庫負担制度2分の1復元」に係る意見書
- ◎ 地方財政の充実・強化に関する意見書
- ◎ 鮭増殖事業に対して支援を求める意見書

上記の意見書が本会議で可決され、関係行政庁に送付されました。



永年勤続議員表彰受賞

地方自治の発展と振興に功績が認められ、全国市議会議長会および北信越市議会議長会から、大滝国吉議員が議員25年以上、姫路敏議員が議員20年以上、鈴木一之議員が議員10年以上の特別表彰を受賞しました。



姫路 敏議員 大滝国吉議員 鈴木一之議員

令和6年度 政務活動費 交付実績

政務活動費とは？ 会派および議員に対して、市政に関する調査研究その他の活動に資するための必要な経費の一部として交付されるものです。各会派および議員の収支報告書は、村上市議会のホームページでご覧いただくことができます。また、支出関係書類や領収書等については、議会事務局で閲覧できます。

会派の政務活動費(所属する議員1人当たり55,000円) (単位:円)

会派名	交付決定額	実績報告額	対象経費	返還額
高 志 会	275,000	311,045	275,000	0
鷲ヶ巣会	220,000	231,844	220,000	0
令和新風会	165,000	165,274	165,000	0
至誠クラブ	165,000	165,380	165,000	0
新 緑 会	165,000	202,582	165,000	0
合 計	990,000	1,076,125	990,000	0

議員の政務活動費(議員1人当たり55,000円) (単位:円)

議員名	交付決定額	実績報告額	対象経費	返還額
魚野 ルミ	55,000	43,750	43,750	11,250
佐藤 憲昭	55,000	201,073	55,000	0
野村美佐子	55,000	386,373	55,000	0
富樫 光七	55,000	114,170	55,000	0
上村 正朗	55,000	708,072	55,000	0
菅井 晋一	55,000	312,850	55,000	0
富樫 雅男	55,000	309,395	55,000	0
高田 晃	55,000	26,637	26,637	28,363
小杉 武仁	55,000	35,113	35,113	19,887
河村 幸雄	55,000	28,600	28,600	26,400
渡辺 昌	55,000	74,640	55,000	0
尾形 修平	55,000	35,013	35,013	19,987
鈴木 一之	55,000	35,040	35,040	19,960
鈴木いせ子	55,000	77,638	55,000	0
川村 敏晴	55,000	139,620	55,000	0
姫路 敏	55,000	431,384	55,000	0
長谷川 孝	55,000	21,413	21,413	33,587
大滝 国吉	55,000	51,769	51,769	3,231
山田 勉	55,000	207,093	55,000	0
三田 敏秋	55,000	34,173	34,173	20,827
合 計	1,100,000	3,273,816	916,508	183,492

一支出が認められる経費一

調査研究費

地方行財政等に関する調査研究および調査委託に関する経費

研修費

研修会を開催するための経費または研修会に参加するための経費

広報費

議員活動または市政について住民に報告するための経費

広聴費

市政に対する意見聴取または住民相談等の活動に要する経費

要請・陳情活動費

要請または陳情活動を行うための経費

会議費

団体等が開催する各種会議へ参加するための経費

資料作成費

議員活動に必要な資料作成のための経費

資料購入費

図書、資料等を購入するための経費

東京都荒川区議会 行政視察で来訪

5月15日・16日の2日間に渡り、本市と友好交流都市の東京都荒川区から区議会建設環境委員会が行政視察のため、来訪されました。

令和5年度から本市と荒川区様の連携事業として「鮭のまちで学ぶ森林・自然体験ツアー」を実施していますが、今回は実際に5・6年度に荒川区在住の小学校4～6年生とその保護者が植樹した、朝日地域大場沢地内の国有林などの状況を視察されました。村上市にとっての「鮭」と「鮭を育む森林」や本事業の意義を深く理解していただくよい機会となりました。



この人に インタビュー

城下町村上の魅力を案内

村上市観光ガイド会

いたがきやすお
板垣 泰男 さん（飯野三丁目）



■自己紹介をお願いします

村上市観光ガイド会の5代目会長として10年目となります。当会は平成5年に観光振興などを目的に発足し、現在、村上が大好きな会員20名で観光ガイドを行っています。

■観光ガイドについてお聞かせください

事前の申し込みにより、観光で訪れた団体・グループの皆さんを、町屋散策やお城山をはじめ城下町村上の見どころにご案内しています。

村上には城下町の風情を感じる景観が多くあり、また、昔の町名もそのまま残っており、訪れた方の想像を膨らませます。

団体旅行の減少など旅行形態の変化により、以前に比べてガイドの依頼件数は減少傾向にありますが、一方、城ブームによりお城山のコースを希望する方が増えています。

■観光ガイドのやりがいは

ガイドを終えての「また来ますね」などの言葉や、時には丁寧な礼状をいただくこともあり励みになります。また、お客様の住む土地のことをいろいろお聞きできるのも楽しみです。

観光ガイドを通して、城下町の景観や食文化など、村上自慢ができることにもやりがいを感じています。

■今後の抱負は

村上の魅力を紹介するだけでなく、新しい出会いや体験を楽しみたいと思います。また、私たちの観光ガイドによって、村上に良い印象を持っていただくことでリピーターを増やし、ひいては村上が賑やかになることを願っています。

市民と議会をつなぐ議会だよりへ

新発田市議会で視察研修 7/16



議会広報特別委員会では、紙面のリニューアルにより読みやすく、親しみのある議会だより「ヨミネスしばた」を発行する新発田市議会での視察研修を行いました。

それまでの白黒の縦書きから全面カラーの横書きとなった紙面、要点を捉えた一般質問の質疑、文字数を減らした分かりやすい記事など、読み手に沿った編集に努めており、参考となりました。

また、議会報告会の持ち方もさまざま工夫されており、実り多い研修となりました。

お詫びと訂正

市議会だより第82号12ページの「派遣保育士で人材を確保」の写真は市内保育園での日常保育の様子であり、派遣保育士による保育の様子ではありません。補正してお詫びいたします。

令和7年 9月定例会のお知らせ(予定)

8月19日(月)	請願・陳情の提出期限（正午まで）
9月2日(火)	定例会初日（本会議）
8日(月)	一般質問（本会議）
9日(火)	
10日(水)	総務文教常任委員会、一般会計予算決算常任委員会総務文教分科会
11日(木)	
12日(金)	市民厚生常任委員会、一般会計予算決算常任委員会市民厚生分科会
16日(火)	
17日(水)	経済建設常任委員会、一般会計予算決算常任委員会経済建設分科会
18日(木)	
19日(金)	一般会計予算決算常任委員会
25日(木)	
30日(火)	定例会最終日（本会議）

*この日程は変更されることがあります。
*開会時間は午前10時です。